

## ケルン国際ベビー・ヤング用品見本市

2009年9月17日(木)～20日(日)

ドイツ連邦共和国 ケルンメッセ会場

-ファイナルレポート-

- 95カ国から1万8000人が来場
- 過去最高の来場者数を記録
- 国外からの来場者が80%
- 新製品発表の場として効果的なビジネスプラットフォームを提供

子供用品分野で世界最大規模のケルン国際ベビー・ヤング用品見本市が9月20日に4日間の会期を終え、成功裏に閉幕しました。今回は41カ国から781社が出展、また95カ国から1万8000人以上の専門バイヤーが来場し、業界の最新トレンドと新製品について活発に情報交換が行われました。出展者の78%、来場者の75%が国外からの参加で、当見本市が子供用品の分野で世界でもトップクラスのビジネスの場であることが確認されています。「国際色豊かな来場者と質の高いバイヤーによって得られた成果に多くの出展者は大変満足しています。経済状況が厳しい中でも、記録的な来場者数を集め、ケルン国際ベビー・ヤング用品見本市は業界をリードする見本市として不動の地位を確立しました。世界中の関係者がケルンで出会い、斬新なアイデアと凝縮された最新トレンドを世界中に発信しているのです」と、ケルンメッセのオリバー・クアト副社長は総括しています。当見本市では、ベビーカー、チャイルドシート、子供用家具、玩具、繊維製品、衛生用品、ベビー用家電、おもちゃ、ゲーム、ベビー／ヤング／マタニティー・ファッションなどが多数紹介されました。

子供用品の市場をリードする見本市として、ケルン国際ベビー・ヤング用品見本市の牽引力は、来場数の増加にも表れています。2004年以来増加し続けてきた来場者は18,000人に及びその内75%が国外からの参加でした。今回は特に東欧、アメリカ、アジアからのビジター数の著しい増加がみられました。

出展参加企業は41カ国781社でした。そのうち外国出展企業は全体の78%を占める612社が出展し、ドイツ国内からの参加企業は169社でした。展示面積はホール10.1、10.2、11.1、11.2、11.3が使われ、総展示面積は94,200㎡に及んでいました。以上の数字が示す通り、今回のケルン国際ベビー・ヤング用品見本市は過去最大規模となりました。

ベビー・ヤングファッション部門の出展各者は当見本市の質と国際性の高さによって得られた成果に非常に満足しています。「購買決定権を持つ質の高い来場者との商談で今後のビジネスにつながる実

りあるコンタクトが多く生まれ、新規顧客も獲得できました。」とコメントした出展者がありました。また、多くの著名企業も、「ケルン国際ベビー・ヤング用品見本市は、ベビー・幼児・マタニティーファッションのメーカーにとって重要な役割を果たしていると思います。」と話していました。

ケルン国際ベビー・ヤング用品見本市の重要性は、多くの出展者は当見本市で得られた成果のみでなく、国際的なバイヤーとも商談が可能で、情報収集と商談の場として最適な国際的ビジネス・プラットフォームであることでも証明されています。

出展者側からだけでなく、来場者からもケルン国際ベビー・ヤング用品見本市は高く評価されました。会場で行われたアンケートによりますと、78%のバイヤーが展示賞品に満足、あるいは非常に満足と回答しました。そして、83%がケルン国際ベビー・ヤング用品見本市への来場目的を達成したと回答しました。およそ75%の来場者は2010年もケルン国際ベビー・ヤング用品見本市へ参加する意思を示しています。そして、95%がビジネスパートナーにケルン国際ベビー・ヤング用品見本市への来場を推薦すると語っていました。

#### 「Kind+Jugend イノベーション賞」

今年で5回目を迎えた「イノベーション賞」はいまや恒例行事となっています。今年も継続的な高品質商品の開発とそのためのアイデア展開を目指す180社以上が応募し、8社が選ばれました。9月17日の開会式の中で行われた授賞式には出展者、来場者プレスが大勢参加しました。

#### ケルン国際ベビー・ヤング用品見本市 2009 データ

- 総展示面積 : 94,200 m<sup>2</sup>
- 出展者数 : 41カ国 781社 (うち関連販売会社2社を含む612社、78%が外国企業。ドイツ企業は関連販売会社2社を含め169社)
- 来場者数 : 95カ国 1万8000人 (うち外国人の比率75%、会期最終日に概算)

次回のケルン国際ベビー・ヤング用品見本市は、2010年9月16日(木)～19日(日)にケルンメッセ会場で開催されます。